

水曜日だけ開く架空の郵便局「鮫ヶ浦水曜日郵便局」は 12/5 (水) に閉局します。



左：鮫ヶ浦水曜日郵便局のシンボル「灯台ポスト」(写真：森賢一) 右：全国から届いた手紙の一部

鮫ヶ浦水曜日郵便局は、昨年12月6日(水)、宮城県東松島市宮戸島・旧鮫ヶ浦漁港に開局しました。開局以来、トンネルをぬけた「その先」を静かに照らす灯台のような存在として、水曜日の手紙を募集してきました。2018年10月までに、全国から4000通を超える手紙が届き、参加者同士の一期一会の出会いを生み出しています。

鮫ヶ浦水曜日郵便局は、当初の予定通り2018年12月5日(水)に閉局を迎えます。残された期間は約2ヶ月。閉局を前に、これまで水曜日郵便局をご存じなかった方、興味はあるけれど参加を迷っている方など、全国各地にお住まいのみなさまにご参加いただくためにも、ぜひ貴媒体にてお取り扱いいただけますと幸いです。

手紙宛先

〒981-0394 宮城県東松島市宮戸字観音山5番地その先 鮫ヶ浦水曜日郵便局

※ 2018年12月5日(水)の消印まで有効。

※ 閉局後は上記の宛先にお送りいただいても届きませんのでご注意ください。

鮫ヶ浦水曜日郵便局 概要

- 実施期間：2017年12月6日(水)～2018年12月5日(水)
- 手紙宛先：〒981-0394 宮城県東松島市宮戸字観音山5番地その先 鮫ヶ浦水曜日郵便局
- ウェブサイト：<https://www.samegaura-wed-post.jp/> ※毎週水曜日のみ、全ての情報をご覧になれます。
- キャッチコピー：トンネルをぬけると、そこには水曜日がありました。
- 局長/ディレクター：遠山昇司 ■ 管理人/プロデューサー：芹沢高志 ■ 配達員：高田彩、桃生和成
- 写真・動画撮影：森賢一 ■ ログ・グラフィックデザイン：吉本清隆 ■ ウェブサイトデザイン：泉田茜
- イラスト：小池アミゴ ■ 局員帽子デザイン：スゾアキコ ■ 灯台ポストデザイン・製作：海子揮一、渡邊武海
- 主催：水曜日観測所 ■ 後援：東松島市 ■ 協力：宮戸コミュニティ推進協議会、日本郵便株式会社東北支社、石巻郵便局、鳴瀬郵便局
- 企画協力：つなぎ美術館 ■ オフグリッド太陽光発電システム提供：株式会社プロジェクトウサミ
- 協賛：アサヒグループホールディングス株式会社、曹洞宗 萬亀山 東長寺、トヨタL&F宮城株式会社、ネットヨタ仙台株式会社、宮城トヨタ自動車株式会社
- 助成：平成29年度宮城県文化芸術の力による心の復興支援助成金事業、平成30年度宮城県文化芸術の力による心の復興支援助成金事業